

2017年度第3四半期 決算説明会資料

財務責任者 見浪 直博

※本資料に含まれる数値は各事業の業績を分かりやすく説明するために使用しており、財務諸表の数値と異なる場合があります。
※用語の定義については、スライド3に記載しております。

将来に関する記述等についてのご注意

本資料には、当社又は当社グループの業績に関連して将来に関する記述を含んでおります。かかる将来に関する記述は、「考えています」「見込んでいます」「予期しています」「予想しています」「予見しています」「計画」「戦略」「可能性」等の語句や、将来の事業活動、業績、事象又は条件を表す同様の語句を含むことがあります。将来に関する記述は、現在入手できる情報に基づく経営者の判断、予測、期待、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。これらの記述ないし事実又は前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もなく、当社としてその実現を約束する趣旨のものでもありません。また、かかる将来に関する記述は、さまざまなリスクや不確実性に晒されており、実際の業績は、将来に関する記述における見込みと大きく異なる場合があります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます（なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、国産葉たばこの買入れ義務、包装、ラベル、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化及び需要の減少
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動
- (10) 自然災害及び不測の事態等

<用語の定義>

調整後営業利益：	調整後営業利益 = 営業利益 + 買収に伴い生じた無形資産に係る償却費 + 調整項目（収益及び費用）* *調整項目（収益及び費用）= のれんの減損損失 ± リストラクチャリング収益及び費用等
四半期利益／当期利益：	親会社の所有者に帰属する四半期利益／当期利益
総販売数量： （海外たばこ事業）	水たばこ/Emerging Products/製造受託を除き、Fine Cut/Cigar/Pipe/Snus込み
自社たばこ製品売上収益： （海外たばこ事業）	物流事業、製造受託等を除き、水たばこ、Emerging Productsの売上込み
紙巻総需要 （国内たばこ事業）	日本市場全体における紙巻たばこの販売本数（Emerging Products等は除く）
紙巻販売数量： （国内たばこ事業）	国内免税販売/中国事業/Emerging Productsを含まない
自社たばこ製品売上収益： （国内たばこ事業）	輸入たばこ配送手数料収益等を除き、国内免税販売/中国事業/Ploom TECHのデバイス・カプセルを含むEmerging Productsの売上込み

（このスライドは空白です）

全社実績 2017年1-9月

全社実績

全社為替一定調整後営業利益は増益

(億円)

	2016年 1-9月	2017年 1-9月	対前年同期 増減率
為替一定ベース			
調整後営業利益	4,765	4,897	+2.8%
財務報告ベース			
売上収益	16,185	15,929	-1.6%
調整後営業利益	4,765	4,861	+2.0%
営業利益	4,946	4,697	-5.0%
四半期利益	3,500	3,337	-4.7%

事業別実績 2017年1-9月

海外たばこ事業実績

通期利益目標の達成に向けてほぼ想定通りに進捗

(億本,百万US\$)

	2016年 1-9月	2017年 1-9月	増減率
総販売数量	3,042	2,980	-2.0%
GFB販売数量	2,163	2,168	+0.2%
為替一定ベース			
自社たばこ製品売上収益	8,062	7,941	-1.5%
調整後営業利益	2,626	2,868	+9.2%
財務報告ベース			
自社たばこ製品売上収益	8,062	7,895	-2.1%
調整後営業利益	2,626	2,747	+4.6%
円ベース (億円)			
自社たばこ製品売上収益	8,731	8,829	+1.1%
調整後営業利益	2,850	3,071	+7.8%

クラスター別実績

	2017年1-3月 増減率	2017年4-6月 増減率	2017年7-9月 増減率	2017年1-9月 増減率
South & West Europe				
総販売数量	-6.4%	0.9%	0.1%	-1.8%
GFB販売数量	-5.9%	1.3%	0.8%	-1.3%
自社たばこ製品売上収益（為替一定ベース）	-5.9%	0.7%	-2.9%	-2.7%
North & Central Europe				
総販売数量	-5.0%	-5.0%	-6.4%	-5.5%
GFB販売数量	-4.0%	-3.8%	-5.6%	-4.5%
自社たばこ製品売上収益（為替一定ベース）	-8.9%	-11.4%	-17.0%	-12.5%

7-9月期 キーノート

S&WE ・ 堅調なGFBモメンタムによるシェア増
・ ポジティブな流通在庫調整

N&CE ・ 総需要減少、ダウントレーディングの継続
・ Fine-cutカテゴリーでの競争激化

クラスター別実績

	2017年1-3月 増減率	2017年4-6月 増減率	2017年7-9月 増減率	2017年1-9月 増減率
CIS+				
総販売数量	-6.7%	-10.8%	-4.3%	-7.4%
GFB販売数量	-6.2%	-6.7%	-1.0%	-4.5%
自社たばこ製品売上収益（為替一定ベース）	-6.2%	-11.7%	-7.3%	-8.6%
Rest-of-the-World				
総販売数量	3.4%	2.9%	8.0%	4.8%
GFB販売数量	12.1%	11.9%	4.8%	9.4%
自社たばこ製品売上収益（為替一定ベース）	12.9%	13.3%	6.4%	10.7%

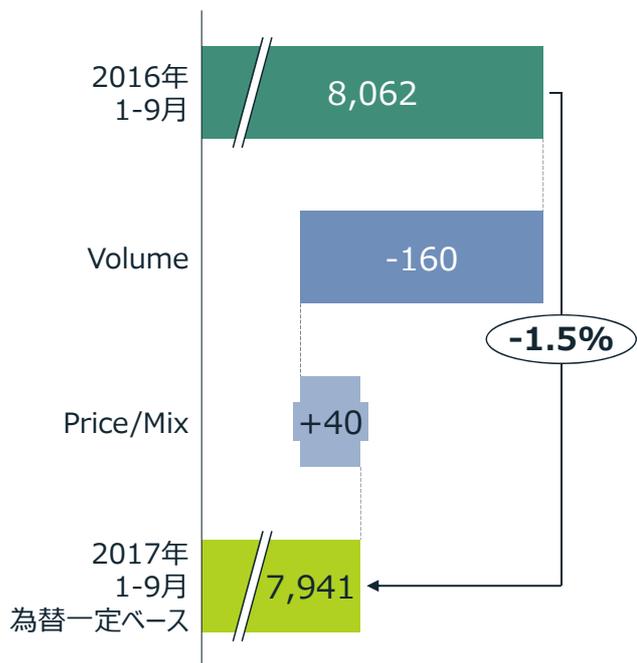
7-9月期 キーノート

CIS+ ・ 総需要減少、低価格帯での競争が継続
・ ロシア：シェアは好調に推移

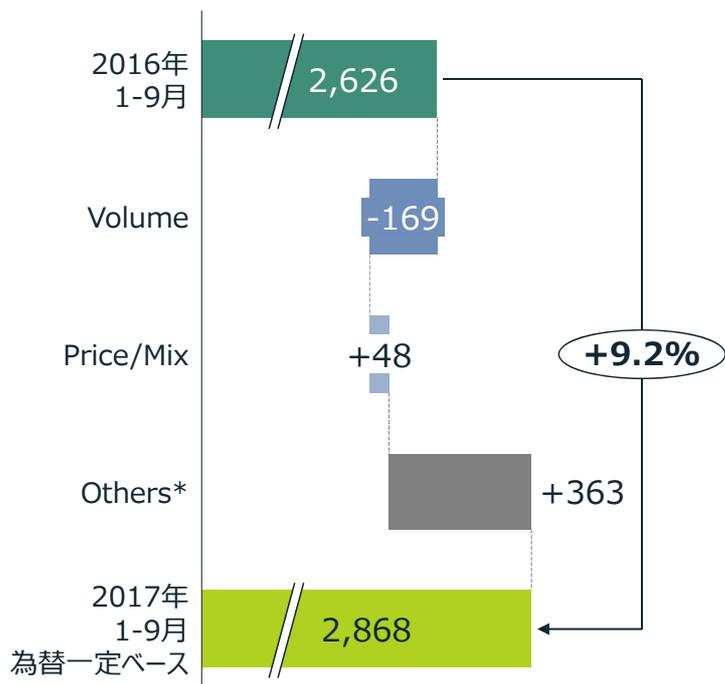
R-o-W ・ フィリピンにおける買収効果*
・ 堅調なGFBモメンタム継続
・ 様々な市場におけるPrice/Mix効果

持続的成長のための投資を行いつつ、 製造コスト低減効果の着実な発現により利益増加

自社たばこ製品売上収益



調整後営業利益 (百万US\$/為替一定)

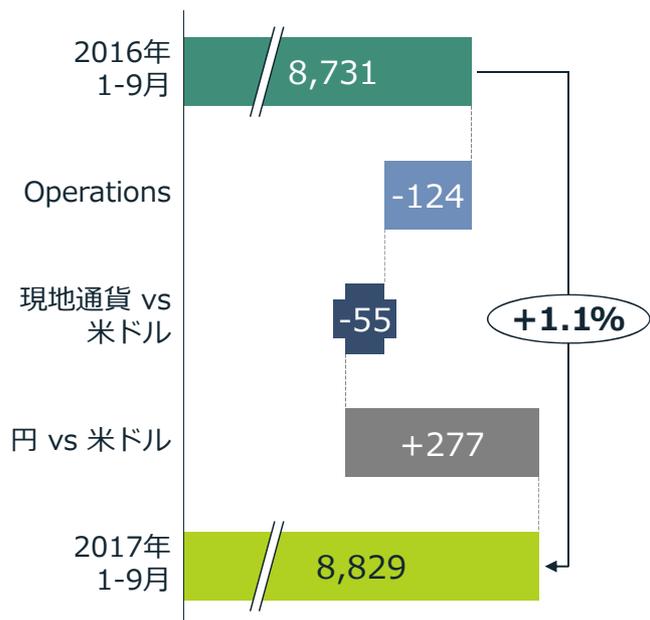


© Copyright JT 2017

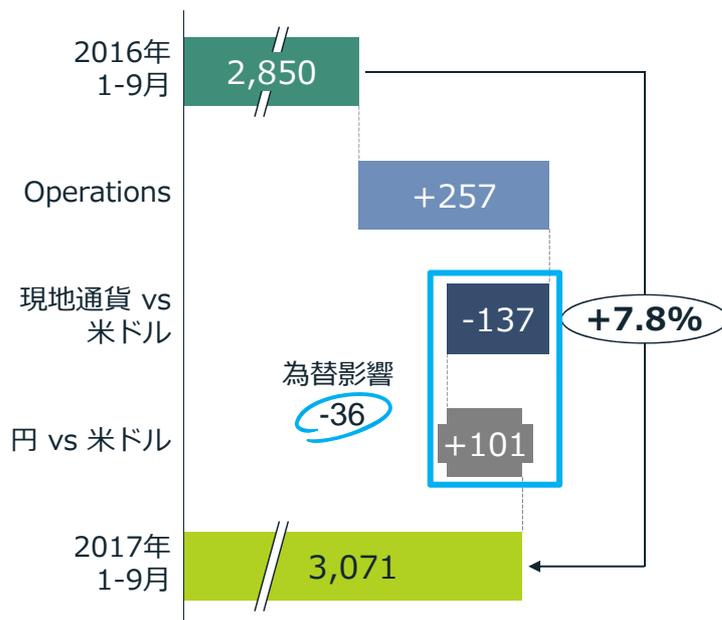
*製造コスト、販促投資、販管費等を含む

利益への為替影響は限定的

自社たばこ製品売上収益



調整後営業利益 (億円)



© Copyright JT 2017

紙巻販売数量は弱含み、厳しい事業環境が継続

(億本, 億円)

	2016年 1-9月	2017年 1-9月	対前年同期 増減率
紙巻総需要	1,308	1,153	-11.8%
JT紙巻販売数量	797	703	-11.8%
JT紙巻シェア	61.0%	61.0%	+0.0%pt
自社たばこ製品売上収益	4,855	4,431	-8.7%
調整後営業利益	1,990	1,780	-10.6%

© Copyright JT 2017

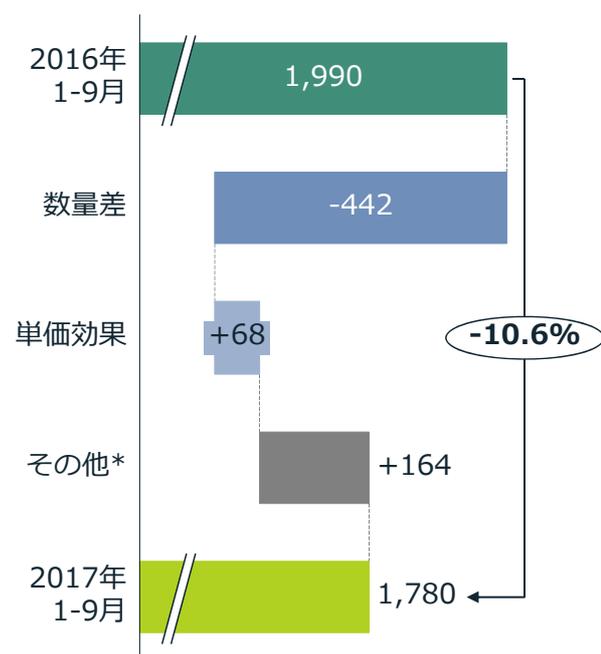
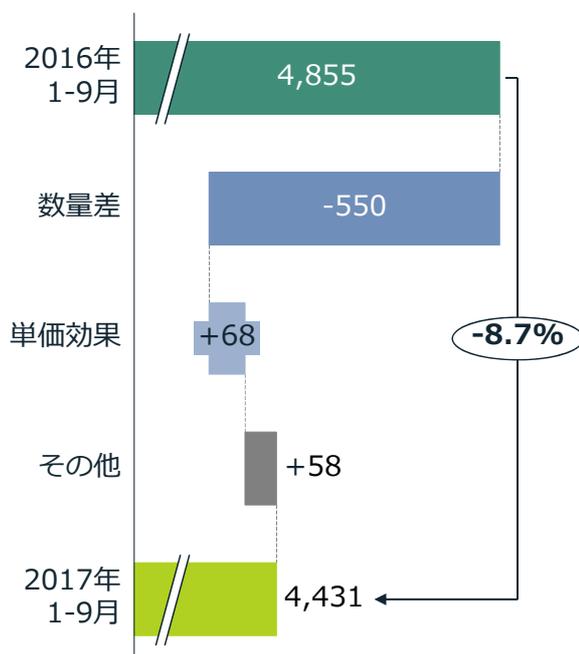
13

単価効果、投資水準最適化によるコスト減はあるも、紙巻販売数量の減少により減益

自社たばこ製品売上収益

調整後営業利益

(億円)



© Copyright JT 2017

*製造コスト、販促投資、販管費等を含む

14

Ploom TECH : 東京での販売エリアを拡大

東京拡販について

- 6月29日より 「Ploom TECH」 専門店を展開
- 7月10日より 東京都心部におけるたばこ販売店
約100店舗にて販売



- 10月30日より 都内の販売エリアを拡大し、
約500店舗のたばこ販売店にて販売
- 11月1日より 都内全域のコンビニエンスストアにて
専用たばこカプセルを販売



東京都における「Ploom Shop」
2017年10月末時点で計4店舗展開

11月1日より「MEVIUS for Ploom TECH」2銘柄を新発売



© Copyright JT 2017

医薬・加工食品事業実績

医薬：ロイヤリティ収入の増加等により大幅増益
加工食品：トップライン減少により減益

(億円)

	2016年 1-9月	2017年 1-9月	増減	増減率
医薬事業				
売上収益	607	742	+135	+22.2%
調整後営業利益	42	158	+116	+274.4%
加工食品事業				
売上収益	1,201	1,173	-28	-2.3%
調整後営業利益	37	30	-8	-20.4%

2017年度修正見込

全社業績見込

厳しい競争環境の中でも、為替一定ベースでの増益を確保

(億円)

	前回見込	今回見込	対前回見込 増減	対前年度 増減率
為替一定ベース				
調整後営業利益	5,970	5,920	-50	+0.9%
財務報告ベース				
売上収益	21,250	21,300	+50	-0.6%
調整後営業利益	5,890	5,910	+20	+0.7%
営業利益	5,650	5,650	-	-4.8%
当期利益	4,020	4,020	-	-4.7%

前提の見直しを反映しつつ、9%の利益成長目標に変更なし

(億本,百万US\$)

	前回見込	今回見込	対前回見込 増減	対前年度 増減率
総販売数量	3,910	3,980	+70	-0.2%
GFB販売数量	2,880	2,860	-20	+0.8%
為替一定ベース				
自社たばこ製品売上収益	10,440	10,440	-	-0.5%
調整後営業利益	3,375	3,375	-	+9.1%
財務報告ベース				
自社たばこ製品売上収益	10,370	10,510	+140	+0.2%
調整後営業利益	3,230	3,280	+50	+6.0%
円ベース (億円)				
自社たばこ製品売上収益	11,520	11,700	+180	+2.7%
調整後営業利益	3,590	3,650	+60	+8.6%

© Copyright JT 2017

19

紙巻販売数量の前提見直しを主因に下方修正

(億本, 億円)

	前回見込	今回見込	対前回見込 増減	対前年度 増減率
JT紙巻販売数量	930	920	-10	-13.4%
自社たばこ製品売上収益	6,020	5,910	-110	-9.0%
調整後営業利益	2,300	2,250	-50	-13.5%

© Copyright JT 2017

20

医薬：好調なモメンタムを反映し上方修正
加工食品：引き続き増益を目指す

(億円)

	前回見込	今回見込	対前回見込 増減	対前年度 増減
医薬事業				
売上収益	1,020	1,030	+10	+158
調整後営業利益	230	240	+10	+143
加工食品事業				
売上収益	1,650	1,630	-20	-11
調整後営業利益	60	55	-5	+5

(このスライドは空白です)

終わりに

Closing Remarks

中長期の利益成長に向けた事業投資を着実に推進

- 2017年通期の利益成長達成を目指す
- Emerging Productsへの投資、新興市場への地理的拡大を着実に実行
- 年間配当金予想は140円から変更なし

